

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場会社名 旭有機材株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4216 URL <https://www.asahi-yukizai.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 賀津也
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部総務部長 (氏名) 亀井 学 TEL 03-5826-8820
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,168	△7.2	84	△86.7	73	△88.6	59	△87.7
2020年3月期第1四半期	12,034	△9.2	630	△10.8	638	△26.5	477	△65.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 156百万円 (△67.4%) 2020年3月期第1四半期 479百万円 (△43.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	3.06	—
2020年3月期第1四半期	24.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	63,060	43,916	69.0	2,275.53
2020年3月期	65,779	44,241	66.7	2,292.23

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 43,536百万円 2020年3月期 43,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	24,000	△9.3	500	△71.3	600	△64.9	450	△65.3	23.52
通期	54,000	△4.6	2,600	△40.5	2,800	△36.3	2,100	△33.1	109.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
(注) 詳細は、添付資料P. 7 「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	19,800,400株	2020年3月期	19,800,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	668,112株	2020年3月期	668,009株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	19,132,358株	2020年3月期1Q	19,132,974株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2020年9月4日(金)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループにおける経営環境は、2020年の初頭より発生した新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた人の移動を含む活動自粛の影響により、自動車販売が急激に落ち込み、メーカーの生産調整が続きました。また、設備投資においては、すでに着手している案件は予定通り進むものの、今後行う定期修繕等については、延期や規模の見直しにより需要の減退が出つつあります。一方で、半導体分野においては5Gやデータセンター等での半導体需要が堅調に推移するとともに、半導体製造設備への投資も新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに推移しました。

当社グループにおいては、緊急事態宣言下での営業活動は主に電話、メール、及びWEBを活用し、お客様とのコミュニケーション不足を補いました。また、本社や営業所においては、在宅勤務を取り入れ、工場や倉庫においては、部外者の立ち入りを禁止するとともにマスク着用、手洗いうがいの励行をはじめとして感染者を出さない予防策を講じて事業運営を行いました。

このような事業環境のもと、鋭意営業活動を推進しましたが、需要の減退をカバーするには至らず、売上は前年度に比べて減収となりました。また営業利益については、売上の減少と減価償却費の増加に加え、株価低迷による年金資産減少の影響を受け労務費が増加したこともあり、減益となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,168百万円(前年同期比△7.2%)となり、営業利益は84百万円(前年同期比△86.7%)、経常利益は73百万円(前年同期比△88.6%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は59百万円(前年同期比△87.7%)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 管材システム事業

管材システム事業の主力製品である樹脂バルブを武器に、耐食問題の解決と金属代替による樹脂管材の市場拡大を基本戦略として、国内外での使用領域の拡大とお客様のお役に注力した営業活動を推進しています。すでに着手しているプラント工事案件等の設備投資の取り込みはできているものの、一般設備向け製品において、定期修繕の延期や規模の見直し等の影響を受けて、前年度に比べ減収となりました。半導体製造装置向けのダイマトリックス製品は、半導体製造設備への投資が昨年度より継続しており、安定した受注を得ることができました。

海外では、米国において、インフラ整備等の受注が堅調に推移しましたが、原油価格低迷に伴うシェール関連の投資減少を受け一部製品に影響が出たため、前年度に比べ減収となりました。一方、中国では、春節明けより経済活動が制限されたことや米中貿易摩擦の影響を大きく受けました。

利益面においては、売上の減少に加え、労務費の増加もあり、前年度を下回りました。

その結果、当セグメントの売上高は7,031百万円(前年同期比△4.8%)、営業利益は282百万円(前年同期比△44.5%)となりました。

② 樹脂事業

主力の素形材用途向けの製品は、国内においてお客様の製品品質の改善につながる提案営業活動を、海外においては今後拡大する需要に合わせた設備投資を行うなどの施策を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症による自動車販売の急激な落ち込みに伴い、自動車生産が低迷した影響を受け、売上は前年度を下回りました。

発泡材料製品のうち、ノンフロンシステムを用いた現場発泡断熱材製品は、施工のしやすさと施工品質を高めた原液システムと吹付施工機械を活用した営業に注力した結果、新規の取引先様も増え、受注量が増加しました。トンネル掘削時に用いる地盤や地山の固結材製品においては、昨年度に引き続き高い固結強度や止水性が求められる高付加価値製品が増え、売上を伸ばしました。また、断熱材の吹付施工を請け負う(株)ランドウィックにおいても、工事受注が堅調に推移しました。

電子材料用途を主力製品とする高機能樹脂は、半導体の微細化に対応している国内の大手レジストメーカー向け低メタル製品が好調で、売上は堅調に推移しました。海外では中国や台湾での中小型液晶パネル向けの製品需要が回復しました。

利益面においては、売上の減少の影響を受け赤字となりました。

その結果、当セグメントの売上高は3,114百万円(前年同期比△16.6%)、営業損失は64百万円(前年同期の営業利益は144百万円)となりました。

③水処理・資源開発事業

水処理・資源開発事業は、水処理事業では、民間の産業排水処理施設の案件や上下水道施設の官庁入札案件の受注を確保することができ、また、資源開発事業では、温泉設備工事や地熱井掘削工事において受注を確保できたことから、売上は増加しました。環境薬剤事業、及びメンテナンス事業は、新型コロナウイルス感染症により活動は制限されたものの、前年度並みの売上を確保することができました。

利益面では、請負工事の一部で進捗遅れが出たことに加え、固定費の増加もあり、前年に比べて赤字が増加しました。

その結果、当セグメントの売上高は1,023百万円（前年同期比12.1%）、営業損失は172百万円（前年同期の営業損失は106百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は63,060百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,719百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金などの流動資産の減少によるものです。負債は19,144百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,394百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金などの流動負債の減少によるものです。純資産は43,916百万円となり、前連結会計年度末に比べ325百万円減少しました。これは支払配当金の額が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上額を上回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月19日発表の決算短信では、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループにもたらす影響により、合理的な予想の算出が困難であったため、当連結会計年度（2021年3月期）の連結業績予想を未定としておりました。

しかしながら、国内における緊急事態宣言の解除等により経済活動再開の動きが見え始めたことから、当連結会計年度（2021年3月期）の連結業績予想につきまして、売上高54,000百万円（前年同期比△4.6%）、営業利益2,600百万円（前年同期比△40.5%）、経常利益2,800百万円（前年同期比△36.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益2,100百万円（前年同期比△33.1%）を予想しております。

当連結会計年度（2021年3月期）の連結業績予想を策定するにあたっての主な前提条件は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、民間設備投資の延期や自動車販売の落ち込みを受けておりますが、第2四半期以降の受注は徐々に回復し、第4四半期には正常化すると仮定したものです。

業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1US\$=105円、1ユーロ=115円を想定しております。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,232	9,016
受取手形及び売掛金	13,997	11,913
電子記録債権	3,196	2,998
たな卸資産	12,099	12,608
その他	620	680
貸倒引当金	△59	△60
流動資産合計	40,084	37,154
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,471	6,443
その他(純額)	11,823	11,719
有形固定資産合計	18,293	18,163
無形固定資産		
のれん	1,193	1,163
その他	995	1,043
無形固定資産合計	2,189	2,207
投資その他の資産		
投資有価証券	2,389	2,747
退職給付に係る資産	2,040	2,037
その他	804	771
貸倒引当金	△20	△19
投資その他の資産合計	5,213	5,536
固定資産合計	25,695	25,906
資産合計	65,779	63,060
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,877	4,528
電子記録債務	3,251	2,755
短期借入金	3,654	3,624
未払法人税等	614	131
その他	3,852	3,765
流動負債合計	17,248	14,802
固定負債		
長期借入金	315	293
退職給付に係る負債	1,728	1,732
株式給付引当金	30	33
役員株式給付引当金	78	84
長期前受金	753	736
その他	1,385	1,464
固定負債合計	4,290	4,342
負債合計	21,538	19,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	8,496	8,496
利益剰余金	31,100	30,678
自己株式	△1,136	△1,136
株主資本合計	43,460	43,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191	444
為替換算調整勘定	527	357
退職給付に係る調整累計額	△323	△303
その他の包括利益累計額合計	396	498
非支配株主持分	385	380
純資産合計	44,241	43,916
負債純資産合計	65,779	63,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	12,034	11,168
売上原価	7,921	7,571
売上総利益	4,113	3,597
販売費及び一般管理費	3,483	3,513
営業利益	630	84
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	33	35
不動産賃貸料	23	19
保険解約返戻金	10	—
その他	6	13
営業外収益合計	74	71
営業外費用		
支払利息	4	6
不動産賃貸費用	11	11
為替差損	36	41
出資金評価損	3	12
その他	11	12
営業外費用合計	66	82
経常利益	638	73
特別利益		
固定資産売却益	8	4
特別利益合計	8	4
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	1	4
和解金	41	—
損害補償損失	—	3
特別損失合計	42	9
税金等調整前四半期純利益	605	67
法人税等	120	9
四半期純利益	485	58
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	8	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	477	59

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	485	58
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	256
為替換算調整勘定	80	△177
退職給付に係る調整額	△50	20
その他の包括利益合計	△5	98
四半期包括利益	479	156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	476	161
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

主として当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結財務諸表計上額
	管材システム事業	樹脂事業	水処理・資源開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,389	3,733	912	12,034	—	12,034
セグメント間の内部売上高又は振替高(注2)	40	0	—	40	△40	—
計	7,428	3,733	912	12,074	△40	12,034
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	508	144	△106	546	84	630

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用(主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差額)であります。

2. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結財務諸表計上額
	管材システム事業	樹脂事業	水処理・資源開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,031	3,114	1,023	11,168	—	11,168
セグメント間の内部売上高又は振替高(注2)	46	0	1	47	△47	—
計	7,077	3,114	1,024	11,215	△47	11,168
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	282	△64	△172	46	38	84

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用(主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差額)であります。

2. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。